

## 坂出市健幸のまちづくり推進協議会（第1回） 議事録

日時：平成30年8月9日（木）13：30～15：20

場所：香川県広域水道企業団坂出事務所

3階大会議室

- |   |   |     |
|---|---|-----|
| 1 | 開会  |     |
| 2 | 委嘱状交付   |     |
| 3 | 市長あいさつ  |     |
| 4 | 出席者の紹介  |     |
| 5 | 会長および副会長の選出   |     |
| 6 | 議題  |     |
|   | (1) 坂出市健幸のまちづくり推進協議会について                              | 資料1 |
|   | (2) 第2次坂出市健康増進計画・第2次坂出市食育推進計画の中間評価<br>および自殺対策計画策定について | 資料2 |
|   | (3) 市民アンケート調査について                                     | 資料3 |
|   | (4) 今後のスケジュールについて                                     | 資料4 |
|   | (5) その他   |     |
| 7 | 閉会  |     |

### ○事務局

こんにちは。ご案内の時刻がまいりましたので、ただいまから第1回坂出市健幸のまちづくり推進協議会を開催させていただきます。

委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。（委員1名欠席）私はけんこう課長の松川と申します。よろしくお願ひ申し上げます。会長および副会長の選出までの議事につきまして、事務局で説明させていただきたいと思ひます。

この会は坂出市健幸のまちづくり推進協議会傍聴要領に基づき公開すること、また、本会議録についても市ホームページで公開することとしておりますので、あらかじめご了承ください。

はじめに綾市長より委員の委嘱状を交付させていただきます。交付に際しまして、市長が各委員の皆様の前にまいりますので、自席にてお受け取りをお願い申し上げます。

### ○市長 【委嘱状交付】

### ○事務局

続きまして、第1回の協議会開催にあたりまして、綾市長よりご挨拶を申し上げます。

### ○市長

皆さん、改めましてこんにちは。大変猛暑が続いております。本日は大変お忙しい中、健幸のまち

づくり推進協議会にお集まりいただきまして、ありがとうございます。

日頃は、本市の健康増進事業、食育推進事業につきまして、ご尽力いただき感謝申し上げます。健やかに幸せと書いて「健幸」のまちづくりを掲げまして、本年度からは係もできまして、全庁的に市民の健幸を守っていくということで進めております。つきましてはラジオ体操をはじめ、様々な事業をさらに発展させるとともに、地域のコミュニティ活動やまちづくり等も含めた総合的な事業を進めてまいりたいと思っているところでございます。

また、第2次坂出市健康増進計画・第2次坂出市食育推進計画の中間見直しの年度になっております。自殺対策計画の策定についても、ご審議をいただくこととなります。市民一人ひとりの健康増進について、皆さんのご忌憚のないご意見をいただく中で進めてまいりたいと考えております。

地域でご活躍されている皆さんのご意見をいただき、地域や家庭、学校、関係団体等と共働したまちづくりを進めていくために、委員の皆さんにはご負担をおかけしますが、これからもよろしくお願い申し上げます。今日はお集まりいただき、本当にありがとうございました。

○事務局

ここで綾市長と部長は次の公務のため、退席させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

続きまして、本日は初めての会議でございますので、委員の皆さんに、簡単に自己紹介をお願いしたいと存じます。

【出席者自己紹介】

○事務局

それでは、次に会長および副会長の選出に移ります。坂出市健幸のまちづくり推進協議会設置要項の第4条に「協議会に、会長1人および副会長1人を置き、委員の互選によりこれを定める」と規定しております。会長および副会長の選出をお願いしたいと存じます。選出の方法についてご意見はありませんか。

○委員

事務局一任。

○事務局

事務局に一任ということでございますが、よろしいでしょうか。

それでは事務局の案といたしまして、会長を高嶋委員に、副会長を佐藤委員にお受けいただけたらと考えております。よろしいでしょうか。

○委員

異議なし。

○事務局

ありがとうございます。それでは会長を高嶋委員に、副会長を佐藤委員をお願いしたいと思います。お手数ですが、高嶋委員、佐藤委員には、会長席、副会長席に移っていただきたいと存じます。

それでは、高嶋会長および佐藤副会長に一言ずつご挨拶をお願いいたします。

○会長

高嶋です。香川県立保健医療大学で保健師の養成をしております。ご指名いただきまして、ありがとうございます。

私は第2次健康増進計画・食育推進計画のほうに携わらせていただきまして、本日を迎えるということになりました。第2次計画では目玉といたしまして、市民の会を作りまして、課題別に市民のかたがたが計画を推進するための協議・取り組みを行っています。また、市役所の中でも庁内会議ということで、組織内で横断的に健康課題に取り組むために、職員のかたがたが協力し合うという体制を作っています。そして3つ目の目玉としましては、市長さんがおっしゃっていたラジオ体操の推進かと思えます。

健康づくりと申しますと総花的になりやすく、どこからそれぞれが手を付けるかということがわかりにくくなりがちですが、やはり焦点となるものを見つけて、その課題に進んでいくことが大事だと思います。そして市民のかたがたに浸透していくことが重要です。健診などに参加する人は参加するけど、参加はしない人が多い。無関心層が非常に広がっておりまして、特に若い人に無関心層が多いことも課題になっております。そういう観点から、今日お集まりの委員さんかたは、いろんな市民のかたへの影響力が大きいと思いますので、ご意見をいただきながら、次の計画へ活かしていけたらと思っております。忌憚のないご意見をたくさんいただけたらと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○副会長

副会長のご指名をいただきました坂出市医師会の佐藤と申します。

坂出市健康づくり協議会がこちらに統合される格好で、これが一番大きな健康についての方針を決める会だと思いますので、できるだけ補佐していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○事務局

ありがとうございました。ここで、議事に入る前に、お手元の配布資料の確認をお願いします。本日の会議次第、委員名簿、席次表、協議会設置要綱、資料1から資料4、計画書の冊子でございます。また、市民アンケート調査票につきましては、事前に配布させていただいております。お手元に不足がございましたら、事務局にお申し付けください。

それでは、これより議事に入りますが、協議会設置要綱第4条第2項に「会長は、協議会を代表し、会務を統括する」となっておりますので、会長に議長をお願いし、以降の進行をお願いいたします。

○会長

それでは議長を務めさせていただきます。会議がスムーズに進行されますよう、委員の皆様かたのご協力をお願いいたします。

議題（1）坂出市健幸のまちづくり推進協議会について、事務局から説明をお願いします。

○事務局 【資料1説明】

○会長

ありがとうございました。それでは、ただいまの坂出市健幸のまちづくり推進協議会についてのご

説明について、ご意見等ありませんでしょうか。よろしいでしょうか。

次に進めたいと思います。議題（２）第２次坂出市健康増進計画・第２次坂出市食育推進計画の中間評価および自殺対策計画策定について、事務局から説明をお願いします。

○事務局 【資料２説明】

○会長

ありがとうございました。それでは委員のかたから、ご質問のほう受けたいと思いますので、よろしくをお願いします。

そうしましたら、私のほうからいくつかお聞きしたいところがあります。まず中間評価ということで話が出ましたが、まずアンケート調査を行うこと、それから担当課のA：良好、B：普通、C：要改善という評価が出ていますが、この評価の根拠等をご説明いただけますか。

○事務局

中間評価に関しましては担当課へのヒアリング調査と、アンケート調査と考えております。担当課の評価につきましては、毎年庁内会議のほうで、担当者が集まって会を開いておりまして、そこで事業の進捗状況などを聞いておりました。今年度に関しましては、庁内会議が開催できていないんですけれども、今回ペーパー上で担当課に評価していただきまして、今後はCの評価もありますので、そういったところは各課に実際にヒアリングしていきたいと考えております。

また、皆様のほうで、こういった方法がいいんじゃないかといったご意見がありましたら、お聞かせいただければと思います。

○会長

A、B、Cの根拠はいかがですか。

○事務局

A、B、Cにつきましては、前回、第２次計画を策定した時に、実際に用いていました３つの段階の評価を今回も用いることにいたしました。あくまでも目標に対して、各担当課が実施した事業に対する担当課の自己評価としておりますので、A、B、Cとざっくりしていると思われるかもしれないんですけれども、担当課の判断で目標に対して、どの程度達成できたかというところで評価をいただいております。

○会長

ありがとうございました。第２次計画の４３ページにA、B、Cの評価について書かれています。委員の皆様からご意見・ご質問はありますか。

○委員

数値目標があって、それに対してどれぐらいのパーセントかといったように、もう少し具体的に書かれたほうが、はっきりわかるんじゃないでしょうか。

○会長

評価基準をもう少し明確にというか、根拠を持てるような資料作成が望ましいんじゃないかということですか。他にいかがでしょうか。

○副会長

評価というのは自己評価も大切ですが、第三者的な評価が重要だと思います。何らかの数値目標あるいは達成目標に対して、何項目中何項目できれば良いとか、そういったことを決めておく必要があると思います。

○会長

ありがとうございます。ただいまの先生のご意見は、第三者評価をどのようにしていくかということと、評価基準が必要というご意見でした。

○事務局

ご意見ありがとうございます。評価の指標として、目標値はそれぞれの項目ごとに設けております。ただ、先ほどご報告させていただきました担当課の目標の達成状況に関しましては、確かに事務局が担当課に少し任せきりのところがありまして、数値評価ですとか、そういうところを求めてこなかったというところもあります。今年度・来年度と改定する中で、担当課も評価を出しやすいような話し合いを持って、評価していけるように改善してまいりたいと思います。貴重なご意見ありがとうございました。

○会長

ありがとうございます。中間評価について、どのようにするか。評価基準というお話が出ておりますが、評価についてでもいいですし、それ以外のことで何かございませんでしょうか。

○委員

評価A、Bはそれなりに進んでいるのでいいと思うんですが、Cの場合は、なぜCと評価したのかという背景や要因の分析が必要だと思います。さらにそれに対して、今後どのようにしていくかを検討する必要があると思います。

○会長

担当課の評価がCの場合、なぜそうなったかの検証が必要というご意見です。また、今後の改善の指標や方向性を検討する必要があるということでした。他にはいかがでしょうか。

○委員

昨年、県で食育の調査研究をしました。全国的に食育をされている吉田俊道先生の講演会でも、野菜を取ったり、バランスのよい食事について言われていました。

今、子どもさんを中心にミネラルがすごく不足しているということを知って、危機感を持っています。アンケート調査をしたら、50%位の人が楽だからということで、だしの素を使っているんですが、昔ながらのいりこや昆布のミネラルを取っていないので、ミネラルが不足しているそうです。

それから発酵食品について、昔は本物の味噌、醤油を当たり前に使っていましたが、今多く使われているものはアルコールが入っています。雑菌があるからアルコールを入れています。発酵した微生物があまり含まれていないものが味噌や醤油として取られているということでミネラルの不足につながっています。

その2つにすごく危機感を感じているので、ぜひ計画にも入れていただけたらと思います。

○会長

今後の計画の中で、具体的なところでミネラルとか発酵食品というのを、どのように入れていくかは今後の検討だと思います。

○委員

次世代の「家族のふれあいを大切にする」の中で、親子給食を実施したとのことで、給食に保護者が来て、子どもと一緒に給食を食べるというふれあいもあると思いますが、朝と晩のところで親子のふれあいができているかどうか、生活習慣としては大事だと思います。

それと関連して、次世代の「子どもの成長発達段階に応じた健康診査を受ける」の中で、健康診査はB、小児生活習慣病検査はAと評価をしています。具体的にどのような問題点があって、それに対して、どう対応したかというものが評価の中に入ってくると、よりよくわかるのではないかと思います。

○委員

今回の会は、第2次坂出市健康増進計画・第2次坂出市食育推進計画の中間評価と自殺対策計画策定がテーマということで、アンケートも見ましたが、中高、一般の中に、これまでに本気で自殺したいと考えることがあるかというかなりシリアスな設問があります。学校現場でこんなことを絶対聞かないですが、それを敢えて児童生徒に聞くということは何らかの目的があるんじゃないかと思います。今まで自殺についての設問はなかったんですけども、坂出市の中で自殺をしている人が多いといったような状況があるんでしょうか。交通事故死より自殺のほうが多いということも聞いたことがあるんですけども、そのあたりの実状とか、これらの方向性の中で、なぜこのような設問を入れたのかお聞きしたいと思います。

○事務局

5年前に第2次計画を策定した時には、自殺対策計画を定める必要がありませんでした。国のほうで自殺対策に力を入れなくてはいけないということで、原則として今年度中に、全国の市町村で自殺対策計画を策定しないといけないという制度ができて、それに対応しています。

坂出市の場合は、今年度から来年度の2年掛けて健康増進計画等の中間評価見直しを予定しておりますので、それとあわせて2年掛けて、国の基準とは1年遅れますが、健康増進計画との整合性を図って策定すべきでないかと考え、今回あわせて策定しようとするわけでございます。

○会長

国から策定が義務付けられている計画ということです。そして健康増進計画との整合性、心の健康との整合性を見ながら、自殺対策計画を策定していきたいというご回答です。もう1つ坂出市は自殺者が多いのかという質問もあったかと思いますが、いかがでしょうか。

○事務局

自殺死亡率というのがございまして、今、数値が手元にありませんが、この計画を策定した後、一時は国の平均、県の平均よりも上回った時期がございました。一時下がった時もあったんですけども、最新のものは平均よりも上がってしまったという状況で、坂出市は自殺の数が多という評価を

しております。

○委員

学校現場では、このような設問はかなり抵抗があると思います。こういった形で、学校に依頼するかわかりませんが、ここで話したからいいということではなくて、学校現場に説明して、慎重に進めてほしいと思いますので、よろしくお願いします。

○会長

他に（２）の議題について、ご意見はございませんでしょうか。

それでは、議題（３）市民アンケート調査についてということで、事務局から説明をお願いします。

○事務局 【資料３説明】

○会長

ありがとうございました。それでは、アンケート調査についてのご意見をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

○委員

小学生用の「あなたのお住まいはどちらですか」という設問で、市内・市外を聞いていますが、市外から来ている子はいないと思います。細かい部分に関して、できるだけ５年生の子どもたちが答えやすいような設問なり選択肢を考えたほうが良いと思います。この場で言うよりは、校長会などで説明していただけるのでしょうか。

○事務局

今の予定ではアンケートのお願いという形で決定したものをお願いするつもりではありました。

○委員

校園長先生かたはまだこのアンケートを見ていないと思います。それをいきなりやっってくださいと言われると、かなり抵抗があると思います。ぜひ決定する前に配って、校園長会の時にご説明いただいて、納得いただいた上で実施したほうが良いと思います。それからアンケートの集計や分析はどこがされますか。

○事務局

まず学校関係者にご意見をいただいてという意見に関しましては、教育委員会と相談させていただいて、そういう場で説明するか、もしくは個々にご意見を聞くなりして、了解を得た上で作っていきたいと思います。

集計に関しましては、今回の策定事業は委託しております。サーベイリサーチセンターにアンケート調査の集計や計画の改定版の作成業務を一部委託しております。集計については学校ごとの数字と、全体の数字を学校にお返しできればと考えております。

住まいについて市内と市外を聞いているのは、附属坂出小学校にも調査を依頼しようと思っておりまして、市外のお子さんもたくさん通学されているということでしたので、この項目を追加させていただきました。

○委員

わかりました。何度も申しますが、自殺したいと本気で考えたことがありますかという設問に対して、いろんな子どもたちがいますから、これを読んだ時に本気で自殺しようかと考えたらいけないですし、かなりデリケートな部分ですので、いろんな面で気になるところがあります。無記名なんですけれども、たとえば高校生の身長や体重を聞くのは失礼かなと思ったりもします。高校のほうも丁寧に内容の精査なり吟味なりをして、実施されたほうが良いと感じました。

○事務局

子どもさん対象の調査につきましては、特に自殺関係の設問はデリケートな内容でございますので、まずは教育委員会と十分に協議して、先生かたのご了解をいただいた上で実施したいと思っております。

それから、高校等を含めて、市内・市外の住まいについての設問ですが、市側にとっては坂出市民の児童生徒だけを対象にした調査で計画自体は策定できるんですけれども、せっかく学校にご協力をいただくので、市外から来ている子どもさんも含めた集計結果をお返しできたらいいのかなと思っております。

○副会長

市内・市外問わずアンケートをして、市内の子どもだけで集計するということですか。

○事務局

はい。坂出市の計画に反映させるのは、市内にお住まいの児童生徒だけの集計になります。

○副会長

高校生はアトランダムに選んで、バイアスは掛からないということでしょうか。全員に行うのでしょうか。

○事務局

公立高校の高校2年生には全員配布を考えております。高校2年生に関しましては郵送の方法も考えたんですけれども、回収率のことを考えますと、やはり学校経由のほうが回収率が良いと思っておりますので、学校に依頼する予定にしております。

○会長

ありがとうございます。一般市民20歳以上の回収率が非常に低くて、前回は郵送で37.5%となっています。小中学生については、前回学校経由で行って90%以上の回収率ということですので、今回も同様にするというこのようです。

○委員

前回の回収率は37.5%ですが、今回はどのくらいの目標を考えていますか。そのためにどのような対策を取るつもりですか。ただ郵送するだけではまた同じような結果になりそうな気がします。

それと一般市民のアンケートで、問4のお住まいの地区はどこですかとありますが、昔は校区だったのが今は地区になっています。「12 島しょ部」は「与島」としたほうが良いと思います。それと他市のアンケートを見ると、住まいの地区が分からない場合は町名を書いてくださいという聞き方もありましたので、それを入れるのがベターだと思います。

それと問9で3・4と答えた人に「問8-2へ」と書いてありますが、問8-2という設問があり



ません。

○事務局

問8-2については問9-2の間違いですので訂正します。地区につきましても、委員からいただいたご意見を参考に訂正する方向で考えたいと思います。

○会長

回収率を上げる対策についてはいかがでしょうか。

○事務局

回収率に関しましては、前回の調査時に未回答者に関しては、催促といたしますか、もう1度ハガキを送らせていただいて37.5%だったようです。今回は、今のところ考えていなかったのですが、催促ハガキの効果があったとは思えないので、事務局のほうで対策を考えたいと思います。貴重なご意見ありがとうございました。

○事務局

追加ですみません。アンケートは質問項目が多くなるほど回収率が低くなります。今回も新たに追加したい項目がありまして、泣く泣くページを増やさないために、前回の調査項目から削除した項目もございます。なるべく回答していただきやすい調査票になるようにと検討していますが、再度見直したいと思います。回収率が50%を超えている調査というのはあまり多くないと思うので、目標の設定は難しいですが、努力はしたいと思います。

○委員

少し回収率が悪くても、アンケートとしてほしい実態を網羅できるような数字になるのが気にはなります。それから自殺対策について、このアンケートのみから実態を把握するというのでしょうか。

○事務局

アンケートももちろん大事な項目の一つでございますが、国のほうからも自殺者数、その原因、男女別、年齢別等々の資料が出ていますので、そちらのほうも参考にして計画を立ててまいりたいと考えております。

○会長

ありがとうございます。これからの対策はアンケートの結果からということと、自殺の状況等の統計資料を踏まえてということでございます。そしてもう1点、回収率が前回37.5%で50%は難しいということですが、この回収率で網羅できるかということなんですが、私の経験では最近はこのように回収率が低くて、坂出市だけが特別ではないと思います。ただ気をつけなくてはいけないのは、この回収率は積極的にアンケートに参加した人、関心がある人のみの結果であって、それ以外の関心を持たない人の状況は分かりにくいということです。

○委員

一般市民のアンケートの4ページ問12(2)で、間食・夜食についてまとめて聞いていますが、間食と夜食は分けたほうがいいんじゃないかと思います。

それと6ページの間23と間24で郷土料理についての設問がありますが、郷土料理と言われてなかなか思い浮かばないので、間23と間24の順番を逆にしたほうが良いと思います。

それと9ページの間39で、普段の生活でどのような時に歯を磨きますかという設問がありますが、けんこう課のいろいろな勉強会に行っておりまして、最近は起床時と就寝前が大事というのを教えてもらいました。ですから選択肢にそれを入れたらどうかと思いました。

#### ○事務局

この部分がどういった評価指標と関与しているかを改めて精査させていただきまして、分ける必要があって、そのほうが答えやすい場合は、事務局で検討させていただきたいと思います。

間23と間24の入れ換えについては、確かにそのとおりに思いましたので、前向きに検討させていただきたいと思います。

間39に関しまして、今日は歯科医師会から委員にご参加いただいていますので、ぜひご意見をいただけたらありがたいです。

#### ○委員

質問の内容が歯磨きと入れ歯の手入れをまとめていますが、これはどうかなというのはあります。

今後の計画の中の方向性を決めるためのアンケートだということなんですけれども、第2次計画の中でも指標になっていると思いますので、それに準じた項目にしたほうが比較しやすいのではないかと思います。

#### ○会長

アンケートの意図するところは、いつ磨いているかということよりも、どれぐらい磨いているかということでしょうか。

#### ○事務局

はい。計画書冊子の73ページに評価指標がございまして、「⑦毎食後歯を磨く者の割合」となっています。毎食後に歯を磨く者の割合を把握したいということで、この聞き方にしています。

#### ○会長

ありがとうございます。他にアンケートの内容について、いかがでしょうか。

#### ○委員

一般市民のアンケートの13ページの間50に「神経過敏」という言葉がありますが、これはイラッとするというような意味でしょうか。わかりにくいというかたもいると思うので、もう少しわかりやすくできたらと思います。

#### ○事務局

心の評価ということでK6という評価項目を用いています。評価項目をそのまま記載した形になっております。

#### ○会長

この評価は点数として出る項目なんですけど、K6といいまして、うつの可能性がどのくらいあるかということがわかるという項目です。

○副会長

神経過敏というのは、自分のことを神経質だと思いませんかというような意味合いだと思います。神経質だと思いますかといったような聞き方のほうがわかりやすいと思います。

○会長

このような尺度の文言を変えるということは、非常に難しいことになろうかと思いますが、いかがですか。

○事務局

文言を変えての質問というのがどうなのかというところを検討させていただきます。

○会長

ありがとうございました。他にアンケートの内容についてご意見ございますか。

○委員

5歳児の4ページの間16、小学5年生の3ページの間15で食事のことを聞いています。たとえば5歳児の間16で14の選択肢があるんですが、「6 塩辛いものを控える」、「10 薄味にしている」とか、「9 食事の前に間食をしない」、「4 ジュース類を飲みすぎない」、「5 お菓子やスナック菓子の適量を守る」とか、アトランダムに並んでいるので、並びを整理したほうが良いと思います。小学校5年生の3ページの間15も同様です。

一方で中学生、高校生になると、自分がどのような食事をとっているのかという設問がありません。一般市民の場合はかなり詳しく聞いているんですが、小中学生くらいのところでもっと食習慣のいい部分を教育してほしいと思います。大人は済んでいるとは言わないけれども、なかなか習慣が変わらないところがあるので、中学生、高校生のアンケートでもっと聞いてほしいと思います。特に高校生の場合は、学校給食から離れて、学校で栄養士もいないので、ほとんど養護か保健体育の先生、家庭科の先生あたりの指導になってきていると思いますので、もう少し中学校、高校生にも食事について聞いていただきたいです。

○事務局

設問数や答えやすさ、評価の方法を考慮させていただいて検討したいと思います。

○委員

先程から問題になっております自殺に関するアンケートの件ですが、聞き方がきついんじゃないかという意見もありますが、私は個人的にはこの聞き方で構わないんじゃないかと思っております。最近は何を考えているかわからない中学生も多くて、対応に苦労している部分もありますが、逆にこういったストレートな質問のほうが素直に入っていくんじゃないかと思います。これに答えない子どものほうが、ある意味問題を持っている子じゃないかと思います。アンケートの結果を子どもの健全育成に役立てていただけたらと思いますので、よろしく願います。

○会長

ありがとうございます。様々なご意見があろうかと思いますが、アンケートについて聞いておきたいという質問がありましたら願います。

○委員

ミネラル不足が言われているので、ミネラルに関する項目があればいいと思います。それから発酵食品についての項目もあればよいと思います。アルコールが入ったものは発酵が十分ではありませんとか、アンケート内で周知も含めてしてもらえないかなと思います。

アンケートの数の問題もありますので、絶対しないといけないとは言いませんが、今後は大きな課題になると思うので、検討をお願いします。

○会長

ミネラル、発酵食品についての項目が必要というご意見でした。どのように実態を把握するかということも含めて検討は必要だと思います。調査の内容について、他にはよろしいですか。

調査内容について精査していただき、ご意見がありましたら、事務局にご意見をお寄せいただきたいと思います。

○事務局

各委員さんからのご意見は、お盆でお忙しい時期にはなりますが、来週いっぱいくらいまでに、お電話でもけっこうですので、いただけたらと思います。

○会長

それでは次の議題に移りたいと思います。議題（４）今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。

○事務局 【資料４説明】

○会長

スケジュールについて、皆さんから何かご意見はありますか。

○副会長

今日の協議を踏まえたアンケートの最終案は、皆さんにお配りしますか。

○事務局

アンケートにつきまして、たくさんのご意見をいただきまして、ありがとうございました。見直しについて検討すると、自殺対策、子ども関係については、先程も申しましたが、教育委員会と協議したいと思っております。

それを受けて、最終的な調査票が完成した時点で改めまして皆様かたに郵送でお送りさせていただきます。よろしく願いいたします。

○会長

ありがとうございました。他に何かありましたら、一言ずつでもお願いします。

○委員

計画の中でどんな取り組みをしたかがよくわからないので、具体的に何をしたかということをもっと出して、その上で評価してほしいと思います。計画書を作るための計画ならやらないほうがいいと思います。

○委員

私は市職員だったんですが3年間離れていましたので、もう少し勉強していきたくと思いますので、よろしくをお願いします。

○委員

回収率の問題が出ていましたけど、事前の啓発・周知方法を工夫してもらえたらと思います。

○委員

今回初めての参加ですが、なかなかアンケートの項目をいろんなかたの意見を取り入れながら反映するのは難しいなと思いました。

○委員

一般市民のアンケートですが、これは年齢別に分けてするんですか。

○会長

年齢別の抽出と、年齢別の回答結果を踏まえて実施したいと思っています。

○委員

私のところへこのアンケートが来たら、書けるかなと思いながら見ていました。また、じっくり考えたいと思います。

○委員

私も今回初めての参加ですが、アンケート調査というのは非常に難しいと思います。ここに来られているかたがアンケートに回答すれば、それだけ数が揃います。

○会長

アンケートの回収率を非常に気にさせていただいてありがとうございます。

他によろしいでしょうか。それでは、議題（5）その他について、事務局から何かありますでしょうか。

○事務局

その他ではございませんが、たくさんの委員さんから計画の推進状況、担当課の評価付きの資料について、分かりにくいというご意見をいただいたと思っております。これにつきましては、今回お示ししたのが、項目で分類した、こういうことをしているという項目名だけにとどまっておりますので、次回以降の分析評価にあたりましては、具体的な取り組み・課題に対して、今後どういう取り組みをしていきたいというような資料もお示しさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○会長

ありがとうございました。それでは以上で本日の議題全てを終了いたしました。活発なご意見ありがとうございました。事務局のほうにお返しします。

○事務局

長時間にわたりまして、協議会のご審議を賜わりまして、誠にありがとうございました。本日いただいたご意見につきましては、真剣に受け止めて、作り直しの参考にさせていただきます。次回以降も何卒よろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。